

今井よしお後援会

活動レポート

「今井愛郎と語ろう会」は3月1日より「今井よしお後援会」に名称を変更しました。



Vol.10

発行年月日 平成23年3月27日
発行 今井よしお後援会
連絡先 諏訪市大手2-1-8 TEL.0266-58-2500 FAX.0266-58-2580
印刷所 タカシマ印刷 諏訪市湖岸通り5-17-4 TEL. 0266-58-1088

諏訪市議会議員2期8年の経験を活かし市民のために働きます。

湖明館通り商業協同組合の臨時総会にて

今井よしお氏に中心商店街の願いを託す！

去る三月五日、湖明館通り商業協同組合の総会が開催され、来る統一地方選挙へ向け諏訪市議会議員今井よしお氏を推薦、出馬の要請をするという決議が行われました。

この度の湖明館通り商業協同組合の総会決議は、小規模事業者の声というだけではなく、諏訪市民の声でもあり、今井よしお氏には、しっかりと諏訪市の『舵』取りをお願いしたいと思います。

今井氏に出馬要請
湖明館通り商業協同組合 4月17日告示、同24日投票の諏訪市長選で、同市中心市街地にある湖明館通り商業協同組合（吉池淳男理事長）は5日夜開いた臨時総会で、新入で市議の今井愛郎氏（41）無所属、桜ヶ丘IIを推進することを決め、同氏に出馬を要請した。今井氏は同組合の決定を受け最終的に決断する意向を示しており、6日にも正式に立候補を表明する見通し。

今井氏は同組合に立脚して政治活動を続けてきたとし、市長選への立候補を前向きに検討しながらも「組織として支持してもらえないかどうかが大切」と態度を保留してきた。

吉池理事長によると、臨時総会では今井氏を市長選に推薦する議題を提案し、出席者全員の賛成で原案通り決定。組合として今井氏に出馬を要請した。

これを受け今井氏は「一晩しっかりと考えたい」と述べた。

平成23年3月6日 長野日報掲載記事より

また、市民協議会・福祉部会の作成を口実にした、大手宅配業者4社のチラシを広報に折込み無料で宣伝することや、緊急避難にせよ税金を使って郊外大型店（除1社）に送迎をすることなどは、中心市街地に限らず市内でがんばっている小売店に対して『早く店を閉める』と言っているような諏訪市の対応は、まさに十二年間続いた山田市政の長期政権の弊害ではないでしょうか。

長引く不況やこの度の震災による先行きの不安など市内の小売店をとりまく環境は一段と厳しさを増しています。

さらに、高齢化が進む市内の現状など、今、諏訪市が次世代に向けて大きく『舵』を切らなければならぬ時期にきている事は言うまでもありません。

今井よしお後援会 事務所開きのご案内

下記日時にて、今井よしお後援会の事務所開きを行います。皆様お誘い合わせの上お気軽にお出かけ下さい。

記

日時 平成23年3月26日(土) 午後5時より
場所 諏訪市大手2-1-8 (並木通り) K'sビル1階



お問い合わせ

今井よしお後援会

住所 諏訪市大手2-1-8 (並木通り) K'sビル1F

TEL0266-58-2500 FAX0266-58-2580

※大変申し訳ございませんが、お車でお越しの方は市民会館・なわて有料駐車場をご利用ください。

ブログ更新中!!

今井愛郎 検索



携帯からアクセス

私の活動と議会報告等をブログで公開しています。パソコンからご覧になるには、「諏訪市議会議員今井愛郎」で検索してください。

<http://blog.livedoor.jp/yoshio1020/>

今井愛郎プロフィール

■ 現在の役職 諏訪市議会市民クラブ代表 議会運営委員会委員長 社会文教委員
諏訪市立上諏訪中学校同窓会副会長 諏訪市交通安全会連合会副会長
湖明館通り商業協同組合理事 諏訪TMO運営委員 等

■ 略 歴 41歳(S44年10月20日生)昭和57年高島小学校卒、昭和60年上諏訪中学校卒、昭和63年岡谷南高等学校卒、平成4年専修大学商学部会計学科卒業、平成8年5月に(株)かのやを継承し平成15年に諏訪市議会議員に初当選し現在2期目。妻・長女・次女・長男・実母の6人で市内上諏訪桜ヶ丘に在住。趣味は、スポーツ観戦全般(特に中学～大学時代まで選手として活躍していたサッカー観戦を好む)。



今井愛郎よしお二期目の議員活動を振り返る

(前号からの続き)

平成二十二年六月 一般質問要旨

平成二十二年九月 一般質問要旨

『若年者の就職支援』『諏訪市における職員採用』『保育園の統廃合』について

- 問、諏訪市における若年者の就職状況・今後の見通しは？
- 答、高卒未就業者は十三名。今年度の求人予定は上向きと聞いている。
- 問、高卒未就業者補助金の県・市の利用状況は？
- 答、市の補助金申請はゼロ、県は三件の申請だが採用はゼロ。まちづくりの担い手となる高卒新卒採用に対しての補助金の新設はできないか？
- 問、今後の検討課題としたい。
- 問、諏訪市の障害者雇用の状況は？
- 答、昨年度初めて障害者枠で一名を雇用。職員全体では、七名の2.3%で法をクリア。
- 問、職員採用が上級職に偏っていないか？
- 答、専門的・社会的経験を有している大卒を採用している。就職年による雇用機会の平等については？
- 答、組織上、雇用機会が平等でない事は御理解頂きたい。ここ十年の退職者平均は十七名余であり、採用を標準化できないか？
- 問、不要な人まで採用する訳には行かない。
- 問、国等に出向した職員の配属先は？
- 答、出向経験を生かせるように配置している。
- 問、保育園の統廃合に対する市長のビジョンが足りないのではないか？
- 答、統廃合は園児が減るから行うのであり、数合わせの統廃合は行うべきではない。
- 問、議会では十年前から耐震を絡めた保育園の統廃合が提言されており、先送りにしてき結果、急な統廃合となつたのではないか？
- 答、諏訪市としてはその時々で、常に最善の判断を下してきた。

過去10年間の市役所一般事務職の退職者と採用者の推移

入庁年度	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13
前年度退職者	23	13	15	14	15	29	27	17	15	8
採用者総数	16	8	9	3	6	9	17	7	9	0
内訳	上級	16	8	8	3	6	7	15	5	4
	中級	0	0	1	0	0	0	0	3	0
	初級	0	0	0	0	0	2	2	2	0

※上級 大卒、中級 短大・専門卒、初級 高卒

立石公園上への産業廃棄物中間処理施設建設と花火大会について

- 問、立石公園上の中間処理施設の概要は？
- 答、中間処理施設など六棟を建設。切断・圧縮・溶融・中和等の業務を行う予定。
- 問、波田町でのトラブルの経過は？
- 答、最終的には業者の主張が認められたと聞いている。経営者側と工事施工者間に施工管理に対する温度差があるのではないかと聞いている。
- 問、経営者側には温度差解消と共に住民理解が得られるような施行を申し入れている。
- 問、操業開始後に中間処理施設が永久放置施設にならないか？
- 答、産廃の監督指導権限は県が有しているが、市としても積極的な情報収集・指導に努めたい。
- 問、自営工事における土砂等の防災対策は？
- 答、今迄に大和側への土砂流出もあり2回に渡り文章でお願いをしている。今後も経過を見ながら適切な指導をして参りたい。
- 問、工事場所等の固定資産税の課税地目は？
- 答、現在は山林・原野・雑種地等だが基準日迄に現状確認を行い、用途に合った適切な課税を行いたい。
- 問、下諏訪方面から見た稜線・景観をどう考えるか？
- 答、景観法上の届出はされているが工事完了後に改めて指導を行いたい。
- 問、花火大会のストリート台設置費は？
- 答、千八百九十九万円余で8回目となる。
- 問、ストリート台を常設化して余剰資金を諏訪湖浄化等にまわせないか？
- 答、県の許可が頂けないのが現状だが、漁協とも協力して良い方向を見出したい。
- 問、市職員の時間外手当金額は？
- 答、一万七千円。
- 問、消防・警備等との差が大きいのでは？
- 答、市職員とは時間・職責が違うので一概に比較は出来ないが、今後の検討課題としたい。

『ゴミ処理基本計画』と『保育園の統廃合』について

- 問、十四年三月に諏訪広域連合が策定した『ゴミ処理基本計画』の位置付けは？
- 答、広域計画は一本化↓用地等の問題↓湖周・岳麓での建設と変遷しているが、基本理念は生きていっていると思つている。
- 問、広域計画の最終年度は三十二年度であり見直すべきでは？
- 答、二組織で計画が進行しており、広域での見直しが必要となれば見直したい。
- 問、煙突は二本でもリサイクルセンター・最終処分場等の広域化は？
- 答、策定当時は環境も変化。『民間委託』も一つの手段。焼却灰の処分方法は？
- 答、循環型社会と言う中で『埋立て』↓『リサイクル』と言う時代になってきていると思う。
- 問、最終処分場『大曲』の利用期間は二十三年度末迄だが？
- 答、湖周計画が遅れる中で、地元区にはご迷惑をお掛けするが『延長』に向けた協議をお願いして行きたい。併せて『民間リサイクル業者への委託』を通じて今後の方策を模索したい。
- 問、諏訪市の家庭ゴミは湖周三市町平均より少なく市民意識は高いのでは？
- 答、エコプロをはじめ多くの市民の協力を頂いているが、まだまだ改善の余地はある。今後は近隣より多い事業ゴミ(岡谷市の二倍強)の減量に努めたい。
- 問、保育所専門委員会の検討状況は？
- 答、大熊・湖南の統廃合の答申を頂いた後は全市民的な有り方を検討中。
- 問、統廃合は現有地にこだわる必要性はないのでは？
- 答、費用対効果が良ければそれも選択肢。市の保育理念に対する答申を頂くべきでは？
- 問、市の理念は『大熊・湖南』の統廃合であり、それをベ



諏訪市の今後の課題について

- 問、4選目の立候補を表明したわけだが諏訪市が取り組むべき課題は？
- 答、福祉医療の充実として温泉リハビリセンターの建設、産業連携推進室の創設、教育再生・子育て支援としてものづくり教育や出張理科教室、英語教育を実施するとともに、広域連携強化。
- 問、諏訪市が取り組むべき最重要課題は？
- 答、福祉・医療・環境・教育。
- 問、財政が厳しいのだからあれもこれもではなく、山田市長が一番行ないたいことは何か？
- 答、行政は何か一つやればよいのではなく百貨店の要素を持つ必要がある。
- 問、旧東バル跡地の『はらっぱ構想』はどうなったのか？
- 答、時々で状況が変わる。行政にはスピード感が必用。
- 問、買物弱者対策として行なわれた、お買物タクシーの利用者が1便当り0.6人(1週間)に対し『まるやさん』の利用者は1日400人余で、市民ニーズは明らかであり、これにこそスピード感を持った対応が必要では？
- 答、もう少し経過を見守りたい。
- 問、一期目(12年前)の市長後援会資料には条件の整つたところからの段階合併とあるが今でもその気持ちに変わりはないか？
- 答、広域連携を壊すような合併は進めるべきではないと考えている。
- 問、次の合併に向けて、諏訪市の中心である諏訪市が合併に向けた強いリーダーシップを取るべきではないか？
- 答、広域連携を積み重ねる中で、お互いの信頼関係を再構築する事が合併への近道だと考えている。

